

令和3年2月17日

苫小牧市長 岩倉 博文 様

公益社団法人 北海道柔道整復師会
日胆ブロック会長 田原 篤

新型コロナウイルスのワクチン接種順位

新型コロナウイルス感染症患者に直接医療提供をする施設の

医療従事者として柔道整復師を含めていただくよう要望します

私共の団体は、柔道整復師法に基づく国家資格である柔道整復師の職能団体です。施術所（接骨院・整骨院等の名称）を開設している柔道整復師が原則会員となっており、上部団体の（公社）日本柔道整復師会は全国で約17,000名の会員を有し、（公社）北海道柔道整復師会は全道で約800名、札幌ブロックは、札幌市をはじめ江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市などを含めた近郊では約300名の会員で組織しております。施術所では、日々骨折・脱臼・捻挫・打撲・挫傷など外傷性の明らかな負傷に対して、健康保険（受領委任払い方式）等の取扱いが認められており整復、固定、後療等の施術を行い、業務を通じて札幌市民への健康贈与に寄与しております。また、札幌市民に対し、学術大会、各種スポーツでの救護活動、健康講習会、SOS駆け込み整骨院・接骨院を行う等、当会所属会員は幅広い公益活動を行っております。

柔道整復師の施術所は、緊急事態宣言下においても、施設使用制限の要請の対象となっておりません。地域社会において外傷に対する施術を、お子様からご高齢の方まで行っており地域医療の一端を担っております。

施術を行うにあたっては、患者さんに直接接することになりますので、至近距離での対応をせざるを得ません。会員に対しては日本柔道整復師会、日本柔道接骨医学会や北海道スタイルなどのガイドラインに沿って感染対策を実施するように指導しており、会員もガイドラインに沿って取り組んでいるところです。しかしながら現在の感染の状況、特に感染経路が不明な感染者が多くいる中で、会員は皆不安を抱きながらも地域の患者さんの健康維持・増進を図るために日々施術に取り組んでおります。

確保できるワクチンの量に限りがあることは理解いたします。また、新型コロナウイルス感染症患者に直接医療を提供する施設の医療従事者や高齢者及び基礎疾患を有する方を優先することも当然必要だと考えておりますが、柔道整復師は、上記申し上げましたとおり、お子様から高齢者の患者さんに対して直接接して施術を行っております。

当会は北海道知事と災害協定を平成26年5月16日に締結しており、災害訓練にも参加をしております。また、苫小牧市と日胆ブロックも令和2年7月21日に災害協定を締結しております。有事で出向・派遣となる際、新型コロナウイルス感染者がいるかもしれない中、予防対策を取りながら衛生的な施術環境を作っていく必要があります。そこで、可能であればワクチン接種順位についての医療従事者の中に我々公益活動をしている会員を含めていただきますよう、ご検討を賜りますよう切にお願い申し上げます。なお、公益社団法人北海道柔道整復師会は、すでに北海道知事へも同じ内容の要望書を提出しております。